

授業科目 看護学演習Ⅱ	科目概要・形式 2単位 60時間(30コマ) 演習科目	配当年次 博士前期2年次 前期開講	オンライン参加 可・不可 (下記7参照)
科目責任者	福井 幸子		
担当者	福井 幸子、蝦名 智子、小野 恵子、角濱 春美、久保 宣子、小池 祥太郎、佐藤 愛、清水 健史、新改 法子、谷川 涼子、出貝 裕子、鳴井 ひろみ、村上 眞須美		
1. 科目のねらい・目標			
<ねらい>			
看護学特論Ⅰ・Ⅱで学んだ概念や知識などを基に、看護学演習Ⅰで明らかにした研究課題に関する研究方法を明確にし、実践による研究成果について理解を深める。			
<目標>			
1. 自らの研究課題を明らかにするために適した研究方法を検討し選択できる。			
2. 研究計画に沿った実践が課題解決になること、および看護の質向上に繋がることを説明できる。			
2. 授業計画・内容			
*この科目は選択した科目担当者が担当します。 ただし、研究課題によっては複数の科目担当教員が関わることがあります。その場合は事前に授業計画書を配布して説明します。			
【福井 幸子】 研究課題に適した研究デザインを選定し、課題解決に向けた実現可能な研究計画の立案および実践のあり方について討論する。			
【蝦名 智子】 研究テーマに応じた研究デザインおよび実現可能な研究方法について検討する。			
【小野 恵子】 研究テーマに応じた研究デザインおよび実現可能な研究方法について検討する。			
【角濱 春美】 自らの研究テーマの計画書を作成、データ収集、論文化するにあたっての課題を抽出し、課題を明らかにするための行動（文献検討・フィールドワーク・インタビュー等）を行うことで、テーマや研究、看護についての視野を広げ、修士論文の質を向上させる。			
【久保宣子】 国際看護に関わる研究課題に応じた研究デザインと、研究課題を明らかにするために実践可能な研究方法について検討する。			
【小池 祥太郎】 研究テーマに応じた研究デザインおよび実現可能な研究方法について検討する。			
【佐藤 愛】 研究課題に適した研究デザインと、研究課題を明らかにするために実施可能な研究方法について検討する。			
【清水 健史】 研究テーマに応じた研究デザインおよび実現可能な研究方法について検討する。			
【新改法子】 研究課題に応じた研究デザインと、研究課題を明らかにするために実践可能な研究方法について検討する。			
【谷川 涼子】 研究課題に適した研究デザインと、研究課題を明らかにするために実践可能な研究方法について検討する。			
【出貝 裕子】 研究課題に適した研究デザインと、研究課題を明らかにするために実践可能な研究方法について検討する。			

【鳴井 ひろみ】

研究課題に適した研究デザインと、研究課題を明らかにするために実践可能な研究方法について検討する。

【村上 眞須美】

研究課題に応じた研究デザインと、研究課題を明らかにするために実施可能な研究方法について検討する。

3. 教科書、参考書

特に教科書は指定しない。各教員が資料を配布または講義中に紹介する。

4. 成績評価方法

「レポート 30%」「プレゼンテーション 40%」「授業への取り組み 30%」で評価する。

5. 受講要件

看護学特論Ⅰ・Ⅱ、看護学演習Ⅰ履修済みであること。

6. 社会人学生に対する配慮

講義日時は担当教員と相談して決められるよう配慮する。

7. その他

オンライン・オンデマンドを希望する場合は事前に担当教員に相談する。

オンラインの場合、基本としてwebex とするが zoom もありうる。

事前に担当教員と連絡をとり、課題などの指示を受けること。